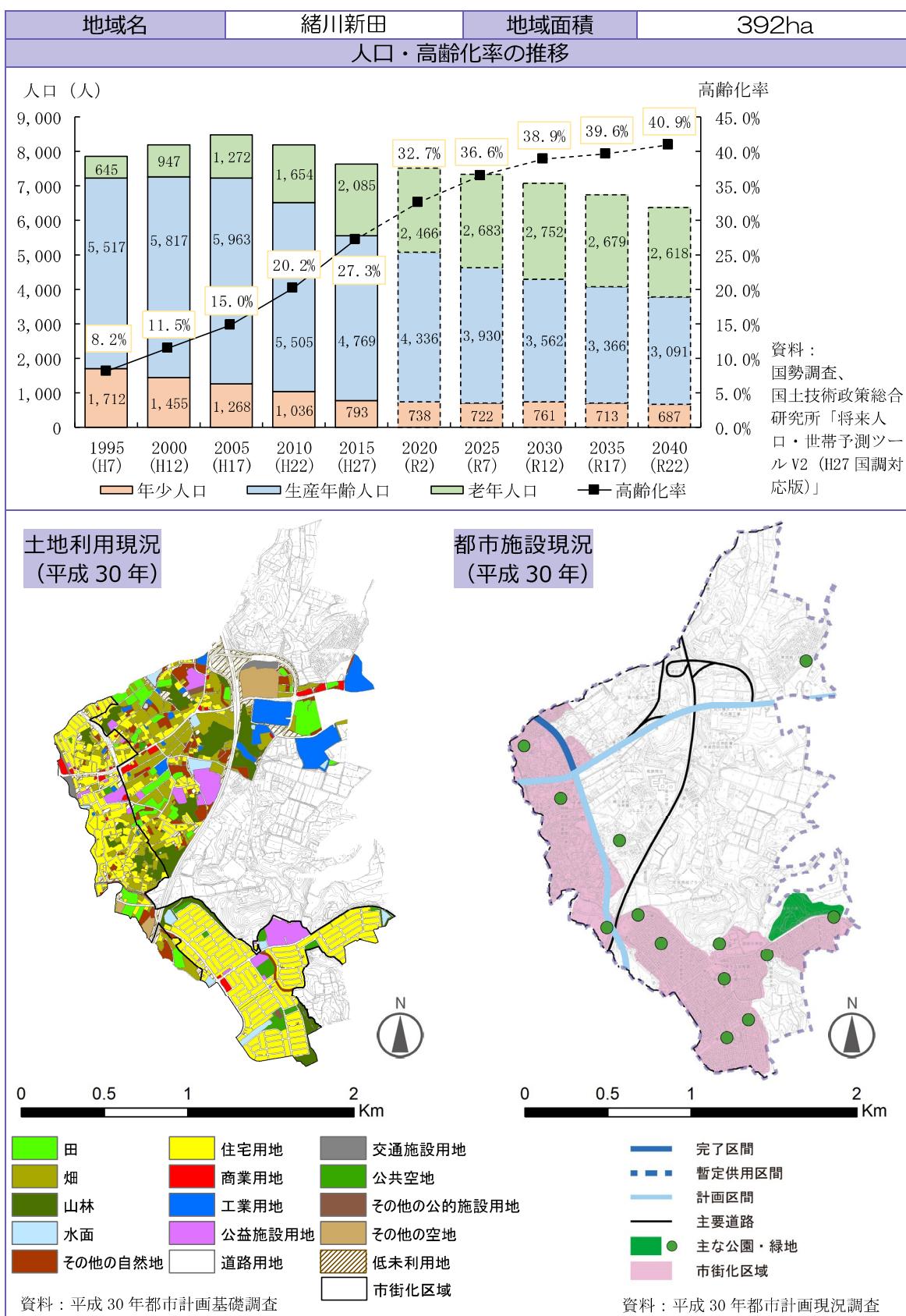
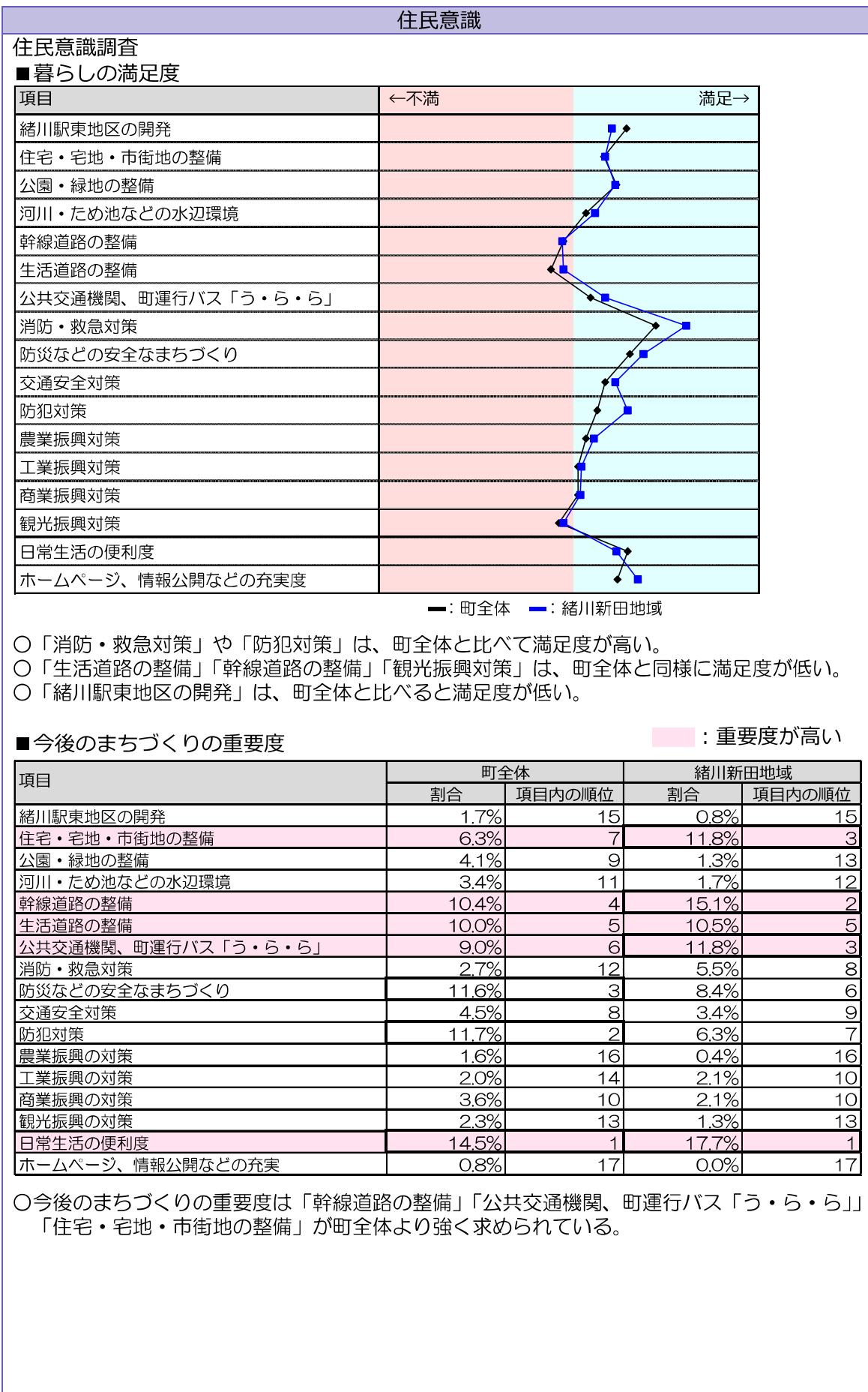


5-4 地域別構想（緒川新田地域）

1. 地域の現況





2. 課題の抽出

	現　　況	課　　題
土地利用・市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> ○(都)名古屋半田線以西の住宅地は、狭い道路が複雑に入り組んだ住宅地となっている。 ○空き家・空き地が存在している。 ○丸山・寿久茂地区などの土地区画整理事業の実施区域や東ヶ丘団地など民間宅地開発地では、都市基盤が計画的に整備された住宅地を形成している。 ○(都)名古屋半田線と知多半島道路に囲まれた地域などでは、スプロール的な開発が行われている。 ○地域の人口は平成17年をピークに平成22年から減少局面に入っている。 ○(都)名古屋半田線周辺は、名鉄翼ヶ丘駅に近接した新たな住宅地としてのポテンシャルを有している。 ○県道知多東浦線沿道において、沿道型の土地利用が進展している。 ○東浦知多ICがあり、また、産業交通軸と位置づけられている(都)知多刈谷線が計画決定されている。 ○地域東側などでは農業基盤整備事業を実施した区域が広がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> □住宅地における防災性の向上を図るために整備・改善が必要である。 □空き家・空き地の有効活用が必要である。 □これまでに整備した都市施設の計画的な維持管理が必要である。 □無秩序な宅地化を抑制する必要がある。 □定住人口を確保するため、新たな住民の受け皿となる住宅地の確保を検討する必要がある。 □沿道の利便性を活かしていく必要がある。 □広域的な交通ネットワークを活かし、新たな産業用地としての活用を検討する必要がある。 □営農環境や農業生産性の維持を目指し、優良農地の保全を図る必要がある。
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ○(都)名古屋半田線と(都)知多刈谷線が未整備となっており、道路ネットワークが形成されていない。 ○名鉄翼ヶ丘駅へのアクセスの改善が地域住民から要望されている。 ○市街化区域内においては、狭い道路が複雑に入り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> □広域交流拠点への連絡強化のため、(都)名古屋半田線と(都)知多刈谷線の整備を促進する必要がある。 □歩いて暮らせる地域づくりや、子ども・高齢者・障がい者に配慮した道路整備が必要である。 □歩いて暮らせる地域づくりや、子ども・高齢者・障がい者に配慮し、都市基盤の強化や安全に暮らせるまちづくりを進めていくための道路整備が必要である。

	現　　況	課　　題
公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅地内において、身近な公園などが立地している。 ○高根の森は、貴重な自然環境として残されている。 	<ul style="list-style-type: none"> □既存の公園は、住民と協力した維持管理や、安全・安心に配慮した公園としての機能向上を図る必要がある。 □様々な動植物が生息する貴重な自然資源として保全に努める必要がある。
下水道・河川・ため池	<ul style="list-style-type: none"> ○市街化区域内は一部地域を除き下水道（污水）整備が完了している。 ○大雨などにより浸水が想定される区域が存在する。 ○雁挾間池などのため池が存在する。 	<ul style="list-style-type: none"> □土地利用と共に下水道（污水）整備の推進を図る必要がある。 □下水道（雨水）の整備による雨水対策を進める必要がある。 □ため池の貯水機能の維持・管理とともに、水害への対策が必要である。
自然環境・景観など	<ul style="list-style-type: none"> ○東ヶ丘団地は、生垣などのある住宅地を形成している。 ○明治時代頃からの集落が残されている。 	<ul style="list-style-type: none"> □生垣などによる緑のある生活環境の維持・保全が必要である。 □歴史や生活文化、坂道のある細い路地の風情を活かした景観形成が必要である。

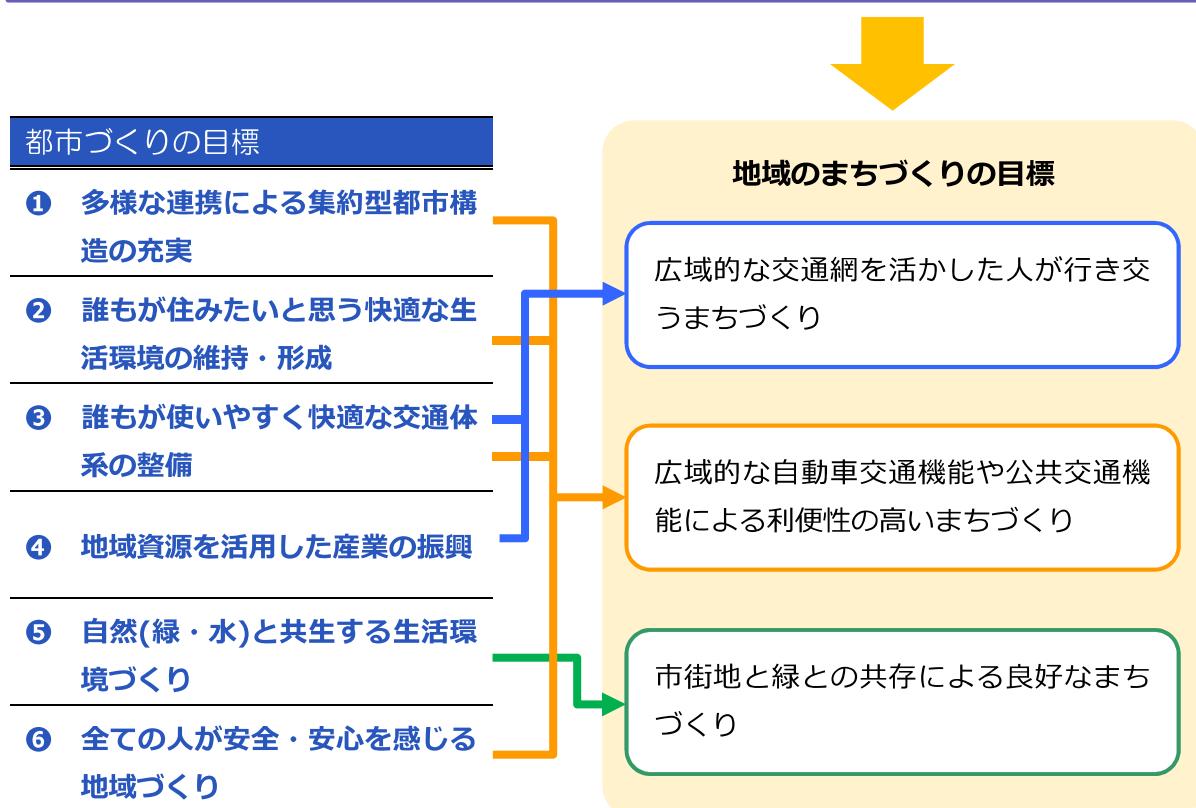
3. 地域のまちづくりの目標

地域の特性

- 東海市、大府市、知多市及び阿久比町と隣接し、東浦知多 IC を有することから、本町の玄関口の一つとして重要な役割を担っている。
- 土地区画整理事業や民間宅地開発によって計画的に整備された住宅地が位置し、東浦知多 IC の周辺地域には工場や集落地が点在している。

地域の主要な課題

- 広域交流拠点と位置付けた東浦知多 IC の活用と緒川地域との連携による活力あるまちづくりの推進
- 道路ネットワークの形成による地域利便性の活用（名鉄翼ヶ丘駅、東浦知多 IC）
- 市街地周辺の農地の保全とともに知多半島道路西部における計画的な住宅地の整備



4. 土地利用の方針

(1) 住宅地

- (都)名古屋半田線の沿道に位置付けた住宅検討地では、土地区画整理事業等による住宅地の整備とともに、幹線道路沿道に商業施設などの立地を図り、名鉄翼ヶ丘駅の徒歩圏に新たな住宅、生活利便施設の集積による拠点形成を図ります。

(2) 商業・観光交流地

- (都)知多刈谷線の沿道は、日常生活に必要な施設立地を図る場としての機能の維持・向上を図ります。

(3) 工業地

- 東浦知多 IC 周辺及び産業交通軸の(都)知多刈谷線沿線は、広域的な交通利便性を活かし、周辺の農地などとの調整を図りつつ、計画的な基盤整備とともに工業用地としての土地利用を検討します。

(4) その他の土地利用

- 住宅検討地及び工業検討地以外で農業基盤整備事業を実施した区域内は、生産性の高い優良農地として無秩序な宅地化を抑制し、保全を図ります。

5. 道路・交通の方針

- 都市計画道路の整備を進め、円滑で安全な道路環境の形成を図ります。

- ◎(都)名古屋半田線は、名古屋市を含む周辺都市との広域的な連携を形成する主要幹線道路として整備を促進します。
- ◎(都)知多刈谷線は、JR 緒川駅と名鉄翼ヶ丘駅の拠点間を結ぶ東西軸として整備を促進し、東浦知多 IC 及び地域中南部の産業活性化拠点への連絡強化を図ります。

- 阿久比町や知多市と連携し、名鉄翼ヶ丘駅周辺の駅前空間の整備を検討します。
- 名鉄翼ヶ丘駅へのアクセス道路の整備を検討します。
- 町運行バス「う・ら・ら」は、新規路線や乗継に便利なダイヤの検討及びコンパクトなまちの各拠点を結ぶネットワーク機能を充実させ、更なる利便性の向上を促進します。

6. 公園・緑地の整備方針

- 高根の森は、様々な動植物が生息する貴重な自然資源として後世への保全に努めるとともに、人と自然がふれあう空間として、積極的に活用を図ります。

7. 下水道・河川・ため池の整備方針

- 下水道（汚水）について、市街化区域においては下水道への接続の向上を図るとともに、適切な維持・管理に努めます。市街化調整区域においては、東浦町汚水適正処理構想及び全体計画に基づいて整備を行い、全体計画区域外で下水道（汚水）への接続が困難である地域では、個別処理の合併処理浄化槽設置を促進し、環境の整備を図ります。
- 雁狭間池などのため池は、ため池の持つ貯水機能の維持・管理を図るとともに、整備を要するため池は、水害の発生防止に向けた整備を推進します。また、周辺の景観を活かした親水空間の創出に努めます。

8. 自然環境・景観の方針

- 東ヶ丘団地は、生垣などのある住宅地として緑豊かでゆとりを感じる環境の維持・保全を促進します。
- 明治時代頃からの集落では、歴史的なまち並み等を有していることから、良好な景観の保全及び形成に配慮します。

緒川新田地域 まちづくり方針図

